

豊作を願う 御田植祭

7月7日、じりじりと焼けるような日差しの下、御田植祭が行われました。

会津坂下町の御田植祭は、会津三大御田植祭の一つで栗村稻荷神社の例大祭です。神輿渡御、早乙女踊り、相撲大会、御神楽などが奉納されました。

この日も社にてお祓いを行った後、天狗様を筆頭に神輿が町内を巡行しました。

早乙女踊りは新たな年の実りを祈願して栗村稻荷神社に奉納されます。早乙女踊り保存会と会津農林高校早乙女踊り保存クラブの皆さんが踊る繊細な花笠舞に大勢の観客が魅了されました。

また、栗村稻荷神社境内の相撲場では奉納親善相撲大会が開催され、小学生たちの取り組みが行われました。土俵を取り囲んだ観客たちは、子どもたちに熱い声援を送っていました。

最後に諏訪神社において御神楽が奉納され、今年の秋の豊作を願う祭りは幕を閉じました。



1



6



5



4

坂下の祭り



1. クライマックスに踊られる花笠舞。早乙女踊りは三部構成(4.5.を参照)。昔は扇舞も踊られていた。
2. 楽譜がない歌を歌い継ぐ唄い手。
3. お囃子は笛、太鼓からなる。譜面は無く口頭伝承。
4. 早乙女踊りの始めに踊られる羽子板舞。
5. 中盤に踊られる棒舞。
- 6.7. 復活したひょっとこ、おかめの踊り。滑稽役で見る人の心をつかむ。
8. 神輿渡御の様子。天狗様の下駄は一本歯。
9. 栗村稲荷神社にほど近い諏訪町、新町、新富町は太鼓台を牽引。
10. 町のために！という想いから、出店で賑わう町内を毎年ボランティアでゴミ拾い。

御田植祭の伝統はこうした多くの方々の支えと、それを受け継ぐ熱い想いによりこれからも受け継がれていきます。

昨年よりひょっとこ踊りも復活しました。

また、早乙女踊りは後継者不足により三年ほど途絶えましたが、現在では結成11年目になる早乙女踊り保存会と、結成10周年を迎えた会津農林高校早乙女踊り保存クラブの皆さんがそれぞれ伝承しています。さらに一

神輿渡御は会津坂下町青年団体連絡協議会を含む、農業に関わる方々により代々受け継がれています。

伝統を繋ぐ人々

